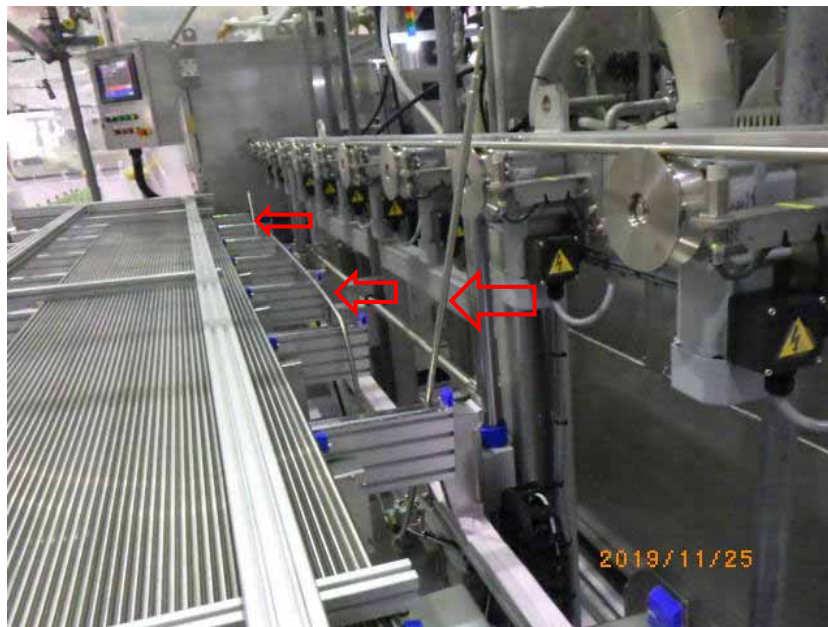


福島第一原子力発電所6号機 新燃料棒の変形について

< 参 考 資 料 >
2019年11月25日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

- 6号機建屋に保管している新燃料については、製造メーカーの工場へ搬出するために順次除染作業を実施しているところであり、この作業の一環として燃料の解体を実施しております。
- 本日（11月25日）午前10時50分頃、福島第一原子力発電所6号機オペレーションフロアにて新燃料（原子炉内で燃料として利用していない新しい燃料）の解体・除染作業を実施していたところ、新燃料棒を除染装置へ運ぶためのリフトの下側に新燃料棒1本がはさまり変形するトラブルが発生しました。当該の燃料棒は変形しているもののこれまで被覆管に破損は確認されておらず、表面汚染密度測定の結果に異常はありません。また、6号機オペレーションフロアにあるエリアモニタ、建屋周辺のダストモニタ等にも有意な変動はなく外部環境に影響を与える状況ではありません。（湾曲箇所で35cpmと41cpm～他のものと同レベル）



【参考】燃料解体、除染及び再組立作業の概要

